

## 2024年度 日本臨床検査医学会 第1回理事会（現理事・監事）議事録

**日時：**2024年3月30日（土）13:00～14:00

**開催方法：**Zoom会議（ホスト会場：学会事務局）

**議事録署名人：**出席した理事長、副理事長、監事

**事務所出席者：**

大西宏明理事長、田部陽子副理事長、久谷直人会計理事、古川泰司総務理事

吉田 博、森兼啓太 各理事、柳原克紀支部長、諏訪部章監事、野澤孝志会計顧問

**Web出席者：**

木村 聡、日高 洋、松下一之、満田年宏、井上克枝、下 正宗、堀田多恵子、矢富 裕 各理事

高橋 聡、志村浩己、東田修二、山崎正晴、大澤春彦 各支部理事

**欠席者：**

伊藤弘康 支部理事、古田 耕監事

### I 開会

大西宏明理事長より一言挨拶があり、Web（Zoom会議）での開催が伝えられ議事を進めた。

### II 報告事項

#### 1. 支部報告

各支部の終了した例会・総会・地方会、そして例会・総会・地方会の予定、支部役員の交代、支部での検査関係の教授、部長、技師長の退任・新任等について報告があった。

#### 2. 2023年度事業報告、各種委員会報告（古川泰司 総務理事）

2023年度の各種委員会報告がなされた。（別紙参照）

#### 3. 2024年（1-3月）各種委員会報告

##### 1) 学術推進委員会報告（矢富 裕 担当理事）

2024年度学術推進プロジェクト研究課題応募要項を機関誌およびホームページに掲載するとともにメールで公開し、順次、応募状況を確認していること、2021年度学術推進プロジェクト研究課題採択者より総説論文の提出があり委員会で確認後、編集委員会に査読依頼したことが報告された。

##### 2) 利益相反委員会報告（古川泰司 担当理事、山崎正晴 委員長）

学術集会への海外講演者に対するCOI開示について照会があり、委員会で審議のうえ対応したが、当学会で使用されていた海外からの講演者用の英文COI自己申告書の内容が、現行のCOI細則と整合しない点があるため修正・追記した改訂版を作成したこと、組織のCOI開示を進める方針としたことが報告された。

##### 3) 会則改定委員会（久谷直人 担当理事、田部陽子 委員長）

支部規約雛形の支部会員区分数に誤りがあったため訂正がなされた。

##### 4) 広報委員会 専門医リクルートWG（木村 聡 担当理事）

臨床検査専門医数増加のため、リクナビへの参加のため臨床検査専門医の広報パンフレット作成を行っていることが報告され、閲覧のうえ、意見、提案などの依頼がなされた。

#### 4. 第71回学術集会報告（大阪2024/11/28(木)～12/1(日)、日野雅之会長）（大西宏明 理事長、古川泰司 総務理事）

2024年11月28日（木）～12月1日（日）に、大阪国際会議場（グランキューブ大阪：大阪）において、日野雅之先生（大阪公立大）のもと開催予定であり、事務局長として中前美佳先生（大阪公立大）、運営事務局は（株）サンプルネットメディカルコンベンション事業部が担当することが報告された。なお、ランチョン共催社への声掛けの協力依頼がなされた。

## 5. 第72回学術集会報告（千葉 2025/8/28(木)～8/31(日)、大西宏明 会長）

2025年8月28日(木)～31日(日)、千葉県幕張メッセにおいて、大西宏明会長（杏林大）のもと開催予定であり、運営事務局は(株)サンプラネットメディカルコンベンションが担当し、現地と一部オンデマンド配信を予定していることが報告された。

ただ、開催時期が8月下旬であるため、演題募集、各賞の受賞候補者の募集、評議員、名誉会員、功労会員候補者推薦時期の繰り上げなど、事前に対処していく必要があるため、理解と協力依頼がなされた。

## 6. 専門医関連事項について（大西宏明 理事長）

専門医関連事項について下記の通り報告された。

- 1) 2024年度専門研修プログラム専攻医は、プログラム制：4名、カリキュラム制：14名、合計18名である。
- 2) 2024年度専門研修プログラムの再申請、新規申請、変更申請は、4～6月を予定している。
- 3) 2024年度実施 第4回機構・第41回 学会専門医 認定試験は、2024年8月4日(日)、東京大学医学部附属病院に於いて、蔵野信実行委員長のもと実施予定である。
- 4) 2024年度実施 第16回臨床検査管理医講習・認定試験は、2024年9月15日(日)、三井記念病院に於いて、金子誠実行委員長のもと実施予定である。

## 7. 本学会からの関連団体委員推薦について（更新）（大西宏明 理事長）

前回理事会（10月29日）以降に新たに当会から推薦された下記派遣委員等について報告された。

- 1) グローバルヘルス技術振興基金 診断薬関連選考委員（任期：2024/4/1～）：田部陽子（順天堂大）
- 2) 中性脂肪学会 中性脂肪蓄積心筋血管症診断基準検討委員（外部有識者）（任期：2024/4/1～2025/3/31）：吉田 博（慈恵医大）
- 3) 日本臨床検査振興協議会 将来ビジョン課題検討小委員会（任期：2024/4/1～2026/3/31）：松下弘道（慶應義塾大）
- 4) 医療関連サービス振興会（任期：2024/4/1～2026/3/31）  
衛生検査所専門部会 副部会長、衛生検査所調査指導中央委員会 委員長：三宅一徳（順天堂大）  
衛生検査所専門部会 委員：高木 康（元昭和大）

## 8. 日本医学会用語委員会報告（古川泰司 日本医学会用語委員）

次期、病名分類のICD-10からICD-11への移行が正式決定されたこと、本件と生成系AIとの関わりについて公的セクターが重点対応していること、遺伝学的用語 顕性・潜性やVariantの用法・対応については、浸透度を継続的に調査していることが報告された。

## 9. その他

特になし。

## Ⅲ 審議事項

### 1. 2023年度計算書類について（大西宏明 理事長、〆谷直人 会計担当理事、監査報告：諏訪部章 監事）

- ・一般会計は収支差額で約100万円のマイナスとなった。  
特に会費収入が予算に比べて少なかった。支出についてはほとんど予算額以下で抑えた結果となった。今後、会費に関する対策を検討していきたい。
- ・特別会計は動きなし。
- ・アジア交流基金は、第17回ASCPaLMへの200万円の補助金のうち70万円ほど返金された。
- ・学会賞基金は、副賞が予算を下回る支出だった。
- ・第69回学術集会（宇都宮、山田俊幸会長）の収支では、当会からの補助金は100万円でしたが学会のほうへ収支差額の210万円の繰り入れがあった。

以上、〆谷直人会計理事より会計報告がなされ、諏訪部章監事から、2024年3月15日に学会事務所において、古田耕監事とともに会計監査を行い、事業報告、会計書類の確認をし、会計報告書類の記載は合致しており的確であると監査報告があり、2023年度に係わる計算書類について承認された。（別紙参照）

## 2. 2024・2025年度役員について（大西宏明 理事長）

定款第6章 理事および監事（選任）第28条3「理事長は、理事および監事の選任を定時社員総会の決議に諮る場合、理事および監事選任議案を作成して提出しなければならない。」により、2024・2025年度の理事候補者として、2024年度就任で選挙理事の8名（大西宏明、堀田多恵子、松下一之、松下弘道、増田亜希子、森兼啓太、柳原克紀、吉田博）、支部から推薦された支部理事7名（高橋聡、志村浩己、中山智祥、伊藤弘康、長尾美紀、橋口照人）、次期理事長予定者より推薦された指名理事4名（井上克枝、上原剛、下澤達雄、山崎正晴）、監事候補者1名（山田俊幸）が提示され、承認された。なお、2022年就任で4年任期の監事は諏訪部章監事。（敬称略）

## 3. 選挙管理委員会からの提案について（大西宏明 理事長、久谷直人 選挙管理委員会委員長）

選挙を電子投票とすること、所信表明は電子データでの提出とし文字数制限を設ける提案があり、承認され、前者は会員マイページ業者と確認中であること、後者は会則改定委員会で検討することとなった。次期理事長予定者立候補者が1名の場合の選挙方法について、必ずしも一堂に会する必要はないのではないかとということより郵送やWebでの投票とするという提案があり、会則改定委員会で検討することとなった。

## 4. 地域医療における臨床検査に関するアドホック委員会からの提案について（大西宏明 理事長）

専攻医が臨床検査専門医を目指そうとしたときに、近隣の臨床検査専門医を確認して相談などできるようにするため、ホームページへ臨床検査専門医を都道府県別に、認定番号、氏名（漢字とよみがな）、勤務先、専門分野を掲載する提案があり承認された。

日本臨床検査専門医会の教育研修委員会主催のセミナー講師を選出するときに、日本臨床検査医学会の試験実行委員会委員が重複することがないように、試験実行委員会委員交代のスムーズな仕組み作りの要望があった。今後検討のうえ協力していくと回答された。

## IV 閉会

大西宏明 理事長、田部陽子 副理事長から一言挨拶があり、本理事会は閉会された。

以上

2024年3月30日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

議事録署名人

理事長 大西宏明 印

副理事長 田部陽子 印

監事 諏訪部章 印